三八地労連ニュース

三八地方労働組合総連合
発行● 2012 年 2 月 9 日
・第 125 号●八戸市柏崎
1-10-34 対馬治療院２階
☎・Fax 0178-47-8886

3.11 なくせ！原発・核燃 三八地区集会

福島第一原発苛酷事故から、まもなく一年になります。全労連や日本原水協が参加して結成された「原発をなくす全国連絡会」は、３月11日の全国いっせい行動を呼びかけ、各地で集会などが予定されています。

三八地区でもこのよびかけにこたえて、なくせ！原発・核燃三八地区集会とパレードを行うことにしました。主催は、八戸医療生協、三八地労連、日本科学者会議八戸分会のよびかけで結成された 3.11 集会実行委員で、集会会場は、メーデーと同じく長者まつりんぐ広場を予定しています。いつもとは違うスタイルでパレードを行いたいとアイデアを募集しています。

福島原発後、三八地域で初めての原発０をめざして開催されるこの集会を成功させ、なくせ！原発・核燃の思いを表現して市民に伝えましょう。市民と共同の行動を展開しましょう。

苛酷事故一周年を「原発からの撤退」の決意の日に

原発問題住民運動全国連絡センター・伊東達也

日本で最初の苛酷事故が発生してから間もなく 1 年になろうとしていますが、３月 11 日は各地で集会などが予定されています。被災地福島では、いまだに 16 万人近い人が散り散りになってさすらっています。除染も賠償も遅れ、多数の県民が被曝に怯え続けています。同時に多くの国民が健康に不安を募らせています。

ところが年末に政府は「事故収束」宣言をしました。ただただ賠償額を減らしたい、原発を再稼働する条件を整えたいためのものです。年初には福島第一原発事故の原因も教訓もまだ明らかにされていないにもかかわらず、ストレステストによる大飯原発の再稼働「妥当」を出しました。

こうした中で迎える「3.11」集会です。どこの原発でも苛酷事故を決して繰り返させず、原発からの撤退をめざす国民的決意を示す日にしましょう。そのためにもできるかぎり多くのみなさんと協力をすすめ、運動の歴史的な前進になるよう努力しようではありませんか。　　(「げんぱつ」274号から転載)

県春闘決起集会

２月19日・日曜日の開催で、会場はアスパム、終了後はデモ行進を行います。地労連として車１台分の派遣を予定していますので、参加希望の方は事務局に連絡してください。

春闘学習会 ―17日に開催

２月17日・金曜日に春闘学習会を開催します。講師は県労連奥村議長、メインテーマは「税と社会保障一体改革の欺瞞」で、年金引き下げや消費税増税問題の根っこの部分を学習したいと思います。また、今春闘の中で大きな問題となっている国家公務員の給与引き下げの問題についても時間を取ります。学習会の予定は左記の通りです。地労連幹事会は、各組合から多数の参加を要請しています。

◇２月17日午後６時半から◇三八教育会館

1.25　消費税増税反対の署名活動－各界連

春を迎える 第16回地労連ボウリング大会

日時　２月 25 日(土)
　　10 時受付・10 時半プレイ開始
場所　ゆりの木ボウル
会費　1200 円(中学生以下 600 円)
　　２ゲーム・靴券と飲物付き
申込　２月 15 日まで(☎ 47-8886)
※60歳以上のハンディは今回から廃止

TPP参加反対で国会議員に協力要請

２月１日、県農民連・宮川と三八地労連・新岡、新婦人八戸支部・山本の３氏は、大島理森、田名部匡代両氏の地元事務所を訪問、「ＴＰＰへの参加中止を求める請願」採択への協力要請と「ＴＰＰ参加反対青森県民集会」の案内を手渡し、請願採択のための尽力及び紹介議員になることと２月25日の県民集会への参加・あいさつを要請しました。両氏事務所とも、ＴＰＰに慎重 or 反対の立場を述べ、申し入れの検討を約束しました。

【当面の予定】

２月17日　地労連春闘学習会　三八教育会館18:30
２月19日　県春闘総決起集会
２月22日　地労連幹事会⑦
２月25日　ボウリング大会　10:00ゆりの木ボウル
２月29日　ＴＰＰ反対県民集会　3.1ビキニデー
３月10日　国際女性デー八戸集会、13:30長者公民館
３月９日　６・９行動　17:30三春屋前・予定
３月11日　なくせ！原発・核燃　三八地区集会　10:30まつりんぐ広場
３月13日　重税反対全国統一行動三八地区集会

元気に、2012年旗びらき

三八地労連 2012 年旗びらきは、1月13日、三八教育会館で開催され、組合員や来賓、友誼組合など24組織から45人が参加しました。幹事で、高教組の高瀬次郎さんが司会をつとめました。

中道議長は 2011 年の活動をふり返りながら、新しい年の地労連と各組合の奮闘を呼びかけました。

県労連有馬事務局長は春闘の前進とともにその最中の開催となる 3.11 原発集会の取り組みをアピール。県農民連事務局次長の宮川さんはTPPによる農業破壊の深刻さと医療制度など暮らしにかかわる影響を訴え、三八地区でも反対運動の組織をつくろうと呼びかけました。

年金者組合三八支部・高橋委員長の音頭で乾杯の後、来賓の紹介と国民救援会からの守大助さんの集会のお知らせや新婦人の新事務局長・山本和子さんの挨拶がありました。

来賓・友誼組合としては右記の他に、共産党三八地区委、民商、生健会、救援会、三八社保協、平和委、民医労青森企画分会、自治労連南部事務所、うみねこ合唱団の皆さんが参加してくださいました。うみねこ合唱団は4人で参加、「人間の歌」と「歩いて行こう」を披露、歌唱指導も行って下さいました。感謝です。

ビンゴゲームは全医労・森越幹事の軽妙な司会が好評でした。参加組合の紹介等も行われ、中道議長の団結がんばろう、山田副議長の閉会挨拶で終了しました。

青森生存権裁判を傍聴して

1月20日、27日の両日、青森地裁で行われた青森生存権裁判の原告口頭陳述を傍聴することができました。20日は106人、27日は107人の傍聴希望者がありましたが、両日とも抽選で64名の傍聴が許可されました。傍聴には、青森市はもとより、県内各地の青森生存権裁判を支援する会のメンバーや生健会の人たちが集結、老齢加算の復活・人として生きる権利を守ろうとの思いを抱いて駆けつけました。とくに、27日の青森路は大雪と吹雪で前が見えなくなるほどの悪条件でしたが、八戸から車3台・16人、むつ市からも車2台での参加でした。

20日は、県生連・神事務局長が生活と健康を守る会として取り組んできた中で出会った経験を証言し、老齢加算の復活が必要だと証言しました。原告の生活を撮影した DVD が上映され、冬季の暖房のこと(灯油の節約など)や食事、通院のことなどが、法廷の大型液晶画面に映し出されました。原告の証言は20日は一人、27日は茂木原告団長他二人(八戸・板橋さんも証言)でした。生活保護を受けることになった経緯、市役所や福祉事務所の対応、寒さに震え、食事の回数を減らし、親戚づきあい、友達づきあいも欠くに至った自分の状況を、涙を流しながら語りました。情けないと思う、死にたいと思うことも…、こんな思いをする人が続かないようにと裁判を起こしたと語りました。証言を聞いて、福祉が人を殺すときという言葉(ルポの書名)を連想し、生存権の最後の砦とも言うべき生活保護がなぜ人を泣かすのか、どうして死にたい気持ちにまで追い込むのかと思いながら傍聴していました。

反対尋問は、原告の窮状と老齢加算廃止との関係が証明されていないという印象をつくりだすための質問に終始しました。

次回の審理は5月18日に行われます。なお、原告が勝訴した福岡高裁の上告審審理が2月24日に予定されています。最高裁が口頭弁論を行うのは、原判決を変更する場合が多いので、予断を許さない情勢です。(新岡)

訃報 1/2　藤井洋一さん
副議長 7 期、幹事 2 期

年金者組合 新春のつどい

2月2日、年金者組合三八支部は長者公民館で新春のつどいを開催、約60人が参加しました。高橋委員長は、6年間で組合員の倍加をめざす壮大な方針を語り、当面する課題での奮闘を呼びかけました。地労連・新岡事務局長、日本共産党・松田市議が来賓として挨拶、小倉前委員長の音頭で乾杯、その後は、相撲甚句や詩吟、オカリナ・琴の演奏などを楽しみました。